

令和5年 新春のごあいさつ

謹賀



新年



新

年あけましておめでとう
とうございます。日頃より市政にお寄せいただきありがとうございます。ご協力に対し、心から感謝申し上げます。

昨年は、コロナ禍に加えて物価高騰が私たちの生活に多大なる影響を与えました。その影響は現在も続いており、大なる影響を与えました。その影響は現在も続いており、大なる影響を与えました。その影響は現在も続いており、大なる影響を与えました。

新型コロナウイルス感染症の感染の波は、昨年も本市に押し寄せましたが、診療体制やワクチン接種体制が構築されたことにより、重症化の予防が図られております。西諸医師会をはじめ、医療介護従事者の皆さまには、深甚の敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、日頃からの感染対策やワクチン接種にご協力いただいていることに加え、新しい生活様式への対応も進めていただいております。イベントの開催など少しずつではありますが、コロナ禍からこれま

での日常を取り戻しつつあり、ウィズコロナからポストコロナに移り変わることが期待されます。市としても、これらを見据えた施策を展開し、市政発展につなげてまいります。

昨年9月に台風14号が接近した際は、激しい暴風雨により、道路や農地等が被災し、停電や断水が発生するなど、市民生活に大きな影響がありました。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。今後におきましても、市民の皆様の生命と財産を守るため、想定されるあらゆる災害の発生に備え、引き続き危機管理体制の更なる充実を図ってまいります。

鹿児島県で開催された第12回全国和牛能力共進会において、本市の出品牛を含む宮崎牛が、肉牛の部で4大会連続となる内閣総理大臣賞を受賞しました。担い手不足が課題となる中において、若手の活躍が光った大会でもあり、畜産のまち小林市がさらに発展していくことが期待されます。引き続き、「日本一おい

市民が元気で笑顔になれる
小林市を目指します。

小林市長 小林 義久

しい宮崎牛」、「和牛の聖地小林市」として、更なるPRを進め、シティセールスを展開してまいります。

本市が最重要施策として位置づけている健幸のまちづくりにつきましては、永田公園園にウォーキングコースを整備し、健幸ポイント事業では参加者数が年々増加するなど、順調に推進しております。健幸のまちづくり拠点施設整備事業（複合型体育館整備）につきましては、本年は、実施設計に着手することとしており、完成に向けて着実に取り組んでまいります。

本年の干支である「卯」は、その跳躍する姿から「飛躍」や「向上」の象徴といわれております。小林市が大きく発展し、市民の皆さまがさらに元気で笑顔に暮らせる年となりますよう、対話を重ね、最良の決断をしてまいります。

結びに、新しい年が皆さまにとって笑顔あふれる幸多き年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。